

令和3年度消費生活相談の概要について

令和3年度に県消費生活センターで受付した消費生活相談の概要についてお知らせします。

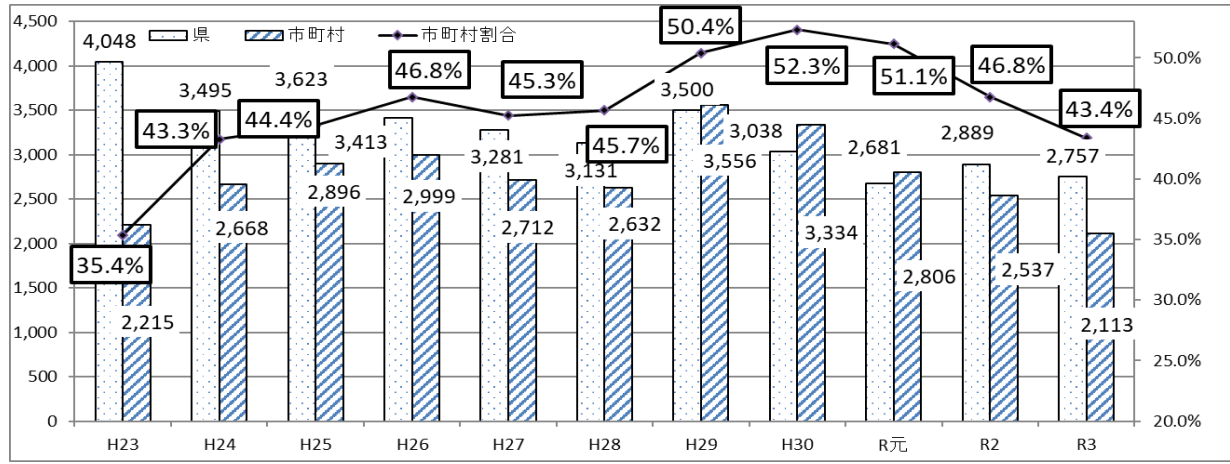
1 令和3年度消費生活相談の概要

- 令和3年度の県消費生活相談窓口への相談件数は2,757件であり、前年度比で4.6%(132件)減少した。
- 内容別では、商品一般(身に覚えのない請求、引き落とし等)に関する相談が最多となった。(246件、8.9%)
- 年代別では、60歳代と70歳以上からの相談割合が同数で最多(554件、20.1%)であり、依然として高齢者からの相談割合が多い。

<高齢者(60歳代以上)の相談事例>

- ・ダイエットサプリが500円で試せると広告を見てスマホから商品を購入したが、初回のみのはずが4か月分4万3千円の請求を受けた。
- ・スマホのメール設定後、「ハッキングしたので暗号通貨で支払うように」とメールが来た。

【相談件数の年度別推移】



【主な相談内容】 R3, 4～ 商品・役務等別分類変更

順位(前年)	相談内容	件数(構成比)	順位(前年)	相談内容	件数(構成比)
1 (2)	商品一般(身に覚えのない請求、引き落とし等)	246(9.0%)	6 (4)	融資サービス(多重債務、ローン等)	109(4.0%)
2 (5)	相談その他(個人間借金、労働相談、不審電話等)	162(5.9%)	7 (-)	娯楽等情報配信サービス(映像や音楽等のコンテンツ配信サービス等)	107(3.9%)
3 (9)	役務その他(古い、弁護士、保険申請サポート等)	121(4.4%)	8 (3)	健康食品(サプリメント等の定期購入等)	98(3.6%)
4 (6)	化粧品(美容液、ニキビクリーム等の定期購入等)	120(4.4%)	9 (7)	移動通信サービス(携帯電話・モバイルルーターの契約・解約等)	83(3.0%)
5 (-)	他の教養・娯楽(有料サイトやサービスへの料金請求等)	110(4.0%)	10 (8)	レンタル・リース・賃借(賃貸アパート等)	83(3.0%)

【年代別相談件数】

区分	R3	構成比%	R2	構成比%	R2~R3 増減	[増減率%]	最多相談内容
19歳以下	37	1.3	23	0.8	14	[60.8]	娯楽等情報配信サービス
20歳代	119	4.3	160	5.5	△ 41	[△25.7]	内職・副業
30歳代	235	8.5	306	10.6	△ 71	[△23.3]	融資サービス
40歳代	444	16.1	491	17.0	△ 47	[△ 9.6]	商品一般
50歳代	470	17.0	494	17.1	△ 22	[△ 4.9]	商品一般
60歳代	554	20.1	545	18.9	9	[1.6]	商品一般
70歳以上	554	20.1	557	19.3	△ 3	[△ 0.5]	相談その他
不明	344	12.5	313	10.8	31	[9.9]	—
計	2,757	100.0	2,889	100.0	△132	[△ 4.6]	商品一般